

ごみの減量は、ごみ処理に要する消費エネルギーの削減と最終処分場使用可能年数の延長につながります。

ごみの分別は、各自が責任をもって行いましょう。



ごみ箱やリサイクルボックスに見やすい表示をすることで、正しく分別できます。写真は、「大きな字」と「色分け」で識別しやすく工夫されています。

(区内事業所の取り組みの一例)



ごみ減量・リサイクルの取り組みによるメリット



地球環境の保全

企業イメージの向上

コスト削減と効率化

従業員の意識啓発

かたつむりのおやくそく

ごみを減らすための合言葉を覚えて、地球にやさしい板橋区をつくりましょう!

～ 事業所編 ～

板橋区は、人と環境が共生する循環型都市「エコポリス板橋」を実現する取り組みの一つとして、区民の皆様には3R（リデュース・リユース・リサイクル）によるごみの減量とリサイクル推進をお願いしています。平成23年度からは、3Rの考え方をさらに発展、拡大させた「かたつむりのおやくそく」を合言葉に、「板橋かたつむり運動」を展開しています。

平成24年度に板橋区内から発生する一般廃棄物は約14万3千トンと推計されています。このうち、事業系ごみは約5万5千トンで、発生量全体の約4割を占めています。「板橋かたつむり運動」を推進するためには、区民一人ひとりの協力だけでなく、事業所で働くみなさんのご理解とご協力も欠かせません。

このリーフレットをお読みいただき、仕事の中でできるごみ減量とリサイクル推進のヒントを見つけていただければ幸いです。



いたばし観光キャラクター
りんりんちゃん



ごみ減量キャラクター
かたつむりん



たづけじょうず

いせつにつかう

かいきる

だにしない

さいくる

のおやくそく



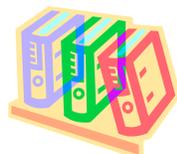
か たづけじょうず

★★不要なものの購入をなくしましょう★★

- 書類や資料、身の回りの文具の整理整頓を心掛けましょう。
- 普段使わない文具が引き出しやペン立てに入っていないか？使えるものかどうか点検しましょう。使えないものは処分し、使用頻度の低いものは共用の収納場所に移しましょう。
- 書類はテーマや分類別に色分けし、見出しをつけます。使用後は元の場所に戻しましょう。ファイリングシステムを取り入れるのも一案です。

書類整理のポイント

- 1 立てる（書類は横積みしない）
- 2 見せる（タイトルを必ず記入する）
- 3 捨てる（不用書類は随時廃棄する）



た いせつにつかう

★★修理して長く使いましょう★★

- 事務用の机、イス、ロッカー等のオフィス用家具は修理したり部品を交換して長く使いましょう。
- 新たに購入する場合は、長期使用を可能にするため、修理やメンテナンスができるものを選びましょう。



毎日の仕事の中でできることから始めましょう！

つ かいきる

★★省資源の文具を選びごみを減らしましょう★★

- 筆記用具は補充や交換ができるものを選びましょう。ボールペンは替え芯を使用し、蛍光ペンはインキを補充して繰り返し使いましょう。
- シャープペンシル選びは、残る芯の長さもチェックポイントです。残芯が短いものを使いましょう。
- ミスコピー紙は裏面をメモ等に使いましょう。



む だにしない

★★すぐに捨てずに何度も使いましょう★★

- 両面コピー・両面印刷をしましょう。複数ページの原稿は「縮小」と「両面コピー」の両機能を使って印刷する方法もあります。
- 両面使用後はリサイクルへ。
- 紙の書類は電子化し、情報を共有しましょう。
- コピー部数は必要最小限にしましょう。
- 備品等が臨時に必要な時は、レンタルなど購入以外の方法も検討しましょう。
- ファイルやバインダーはとじ具の脱着が可能なものがあります。表紙を交換すれば何度も使えます。



り さいくる

★★不用になったらリサイクルへ★★

- 職場にリサイクルBOXを設置しましょう。
- 使用済みの紙類は、種類別に分けてリサイクルに回しましょう。
- 古紙を再生してできたOA用紙等を積極的に使いましょう。
- テープやラベルはリサイクルに支障のない粘着剤を使用したものを使いましょう。
- 蛍光灯はリサイクルルートへ寄せましょう。



※蛍光灯などに含まれる水銀もリサイクルできます。水銀を含む廃棄物の適正処分をお願いします。